



環境未来都市 北九州市

環境局

一般会計要求総額

17,232百万円

(対前年度 +16.9%)

令和2年度予算要求の経営方針

「世界の環境首都を目指し、プラスチック問題や温暖化問題などの世界的な課題に積極的に対応していくとともに、ESGを活用した環境ビジネスを推進し、SDGsの実現に貢献していく。」

これまで培ってきた市民環境力を発揮しながら、本市の環境技術やノウハウを活かし、環境国際協力・ビジネスや地球温暖化対策などを進めていく。

また、世界規模で課題となっているプラスチックごみ対策をはじめ、ごみの減量化・資源化にも取り組んでいく。

令和2年度 予算要求の基本的な考え方 (新)：新規事業 (継)：継続事業 (拡)：拡充事業

① 循環型社会づくりの推進

食品廃棄物やプラスチックごみの削減など、ごみの減量化・資源化に向けた取り組み

- (拡) 北九州市プラスチックスマート推進事業
- (新) 食品ロス削減運動の推進



海岸清掃

② 低炭素社会づくりの推進

再生可能エネルギーの導入や省エネの推進など、低炭素社会づくりに向けた取り組み

- (拡) 北九州水素タウン実証・PR拠点化推進事業
- (拡) 再エネを活用した水素サプライチェーンのモデル構築事業
- (新) 浮体式洋上風力発電の導入可能性検討事業
- (新) EV・FCVなどの次世代自動車を活用した災害対応力強化事業



北九州水素タウン

③ 環境国際協力・環境国際ビジネスの推進

これまでの強みを活かした環境国際協力によるアジア地域の環境改善に向けた取り組み

- (新) 環境国際ビジネス新基盤構築事業
- (新) 環境ビジネス創出支援事業
- (継) 日中大気汚染・省エネ対策共同事業



アジア地域での生ごみコンポストづくり

④ 自然環境の保全と環境ブランドの構築

SDGsの実現と「北九州環境ブランド」の確立に向けた取り組み

- (新) しる・わかる・ひろがる自然共生促進事業
- (継) 地球温暖化対策推進事業
- (新) 環境ミュージアムにおける本市環境力の発信



鳥がさえずる緑の回廊 植樹会

※公開時点の予算要求の内容であり、令和2年度に実施することが確定していません。